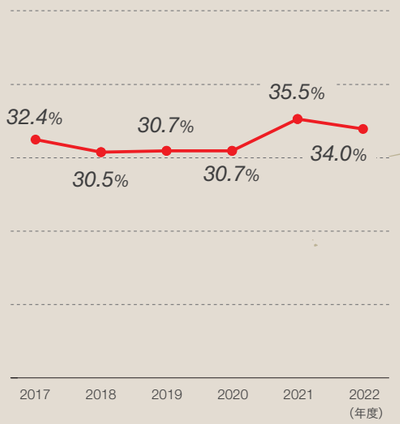
エリア別戦略

三社電機製作所グループのグローバル展開

1983年に米国ニューヨーク州に子会社「SANREX CORPORATION」、香港に子会社「SANREX LIMITED」を設立以来、1999年にはシンガポール、2001年には中国上海市に販売拠点を設置し、海外での販売を展開してきました。また、1994年には中国広東省に電源機器の製造拠点を設立し、中国国内での“地産地消”を推進しています。さらなる海外展開を目指して、2017年にはフィンランド（ヘルシンキ）、韓国（ソウル）、台湾（台北）に支店を設置しました。中長期的な目線では、海外売上高比率を5割程度に引き上げることを目標に事業のグローバル展開を推し進めています。

海外売上高比率



主要エリアの事業別戦略

中国

直近の経済はややスローダウンしているものの、依然として世界有数の経済大国であり、今後も持続的な成長が見込める市場です。特に、EV関連では生産・販売ともに世界をリードする市場であり、周辺産業の拡大も顕著で、当社のパワー半導体および電源機器が貢献可能なエリアは大きいと考えます。当社グループは、中国国内に製造・販売拠点を有しており、そのメリットを活かして地産地消の拡大に取り組んでいきます。

パワー半導体事業

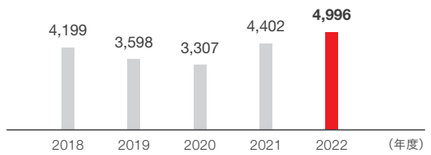
ディスクリートなどの販売に加えて誘導加熱業界、無線充電器等へのSiC半導体の採用拡大に注力します。

「中国製造2025」に対しては、引き続き代理店や業界からの情報収集に努めます。

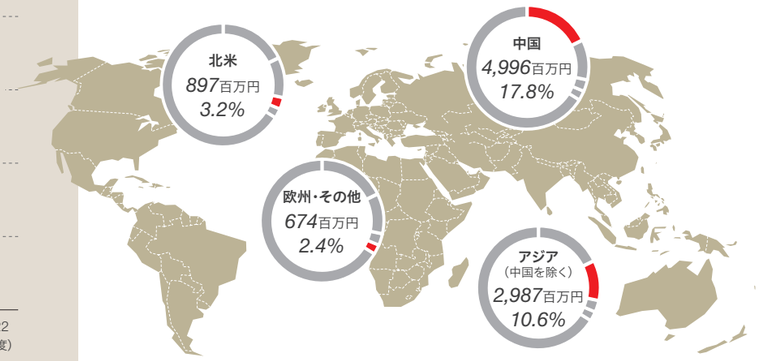
電源機器事業

表面処理用電源、溶接機をメインとして販売拡大を図ります。そのためには、販路の拡大が必須と考えており、2023年度はさまざまな手法でアプローチを行い、代理店網を拡充するとともに新用途・新規顧客の開拓を推進します。

売上高推移（百万円）



エリア別売上高構成比（2022年度）



欧州

欧州には、インバーター、溶接機、誘導加熱など当社製品が貢献可能な業界の大手メーカーが多くあります。これらのメーカーへの製品提案を通じて、販売拡大に取り組む計画です。

また、欧州は、世界的にも環境問題への関心が高い地域で、脱炭素、再生可能エネルギー、水素などの分野で当社の貢献可能性について検討を行います。

パワー半導体事業

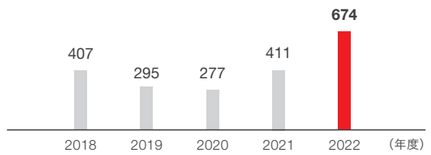
SiC半導体の販売拡大に向けて、既存業界への販売を強化するとともに、新しい業界にも展開していく計画です。

電源機器事業

新たなエネルギー源として世界的に注目が集まっている水素関連のメイン市場である欧州で、当社製品がお客様のニーズに応えられる可能性を検討していきます。

展示会の様子
World hydrogen 2023（オランダ）

売上高推移（百万円）



アジア 中国を除く

東南アジア地域は日系企業の製造拠点が多数あるなか、特にタイにおいて、表面処理用電源は一定のシェアを保有しています。今後は、現地企業への販促活動を強化し、さらなるシェア拡大を図ります。

インドは、当社グループとしては開拓途上の市場ですが、中国と同様に世界有数の経済大国であるため、インド市場の開拓は海外事業のカギとなると考えています。2023年度は、インド市場開拓のため、これまでの活動をさらに推し進め、加速させます。

パワー半導体事業

主力のトライアック半導体に続く第2の柱として、EVバス、誘導加熱業界向けにSiC半導体の販売拡大に取り組みます。

北米

製造業における設備投資は、直近ではややスローダウン傾向にあります。加えて、中国との経済政策における影響がありますが、北米エリアは、世界経済をリードする中心市場であると考えます。当社グループは、全方位の販売展開ではなく、ニッチ戦略を取り、特定の市場でのシェア拡大を図ります。

パワー半導体事業

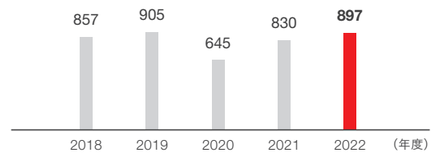
新たな試みとして産学共同を推進します。米国の大学との協働で当社半導体の応用事例の検証と横展開を図ります。また、全米規模の関連展示会出展により、知名度向上と新規顧客獲得を進める計画です。

電源機器事業

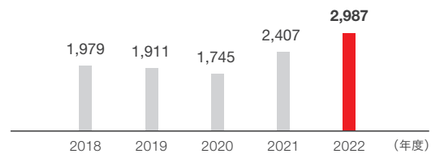
溶接関連製品の品揃えを充実させ、販路拡大に取り組みます。また、知名度向上と新規顧客獲得を進めるため、全米規模の関連展示会に積極的に出展する計画です。

北米向け溶接機

売上高推移（百万円）



売上高推移（百万円）



電源機器事業

自動車関連を中心に、表面処理用電源の継続した需要が見込まれます。既存顧客との関係性のさらなる強化と新規顧客開拓を推進します。